

【第一号議案】

社会福祉法人 国際保健支援会

令和5年度 事業計画(案)

1. 理念

人々の健康を保持するため、さまざまな支援活動を行う

2. 目標

- (1) 『利用者・家族中心』を共通目標とし、各職種それぞれの専門性と多職種協働のチカラを発揮し組織として成長する
- (2) 新型コロナウイルスの感染対策を徹底する
- (3) 職員教育活動を行いサービスの向上に努める

3. 評議員会、理事会の開催

- (1) 令和4年度事業報告、決算報告の承認について（令和5年6月予定）
- (2) 令和6年度事業計画(案)、予算(案)の承認について(令和6年3月予定)
- (3) 運営関係等の必要に応じた臨時の評議員会、理事会の開催(随時)

4. 部門別目標及び具体策

<1> 看護部門

『目標』利用者一人一人の全体像を把握・アセスメント(評価)し多職種と共有し、利用者にとって最適なケアを提供する

- (1) 看護師の専門性を活かし、モニタリング(観察)や全体カンファレンス・状態変化時には全身状態のアセスメントを行い、更に内服薬の内容・栄養状態にも目を向けて随時見直しを行う

- (2) 利用者の背景・疾患に関する治療方針・本人及び家族の思い出などを利用者情報ベースとして作成し、全職種が利用者の全体像を把握できるようにする
- (3) ケアプランに沿ったケア方針の立案、及び定期モニタリング(観察)を実施して、その結果を全体カンファレンス時に多職種と共有する

<2> 介護部門

『目標』 利用者様に寄り添ったケアを提供し、安心して施設生活が送れるようにする

- (1) 相手の立場を考えた思いやりのある「言葉使い」を徹底し、職員同士でも助け合える雰囲気作りをして、利用者様に安心して生活して頂く
- (2) レクリエーションの内容がワンパターン化することなく、利用者職員との意見を取り入れてその内容を充実させ、利用者様の身体機能の維持や生活へのメリハリが持てるようにする。

<3> リハビリテーション部門

『目標』 収益向上を目指し、リハマネ加算・生活行為向上リハ実施加算を月平均 15 件算定していく

- (1) 利用者様、ご家族と共に多職種がチームとなって具体的なリハビリ目標を設定し、ルーティン化したリハビリではなく、目標達成に向けた柔軟なプログラム作りを行う
- (2) 新規契約時にご家族にパンフレットを配布するなど、リハマネージメントの効果について理解を深めてもらい、加算を増やす。また紹介などによる新規利用者獲得も同時に狙う

<4> 栄養部門

『目標』 利用者様の食に対する意欲を引き出すような献立と一人一人に合った食事形態、何より楽しみになるような食事を毎日提供する

- (1) 他職種によるアセスメント(評価)を反映した栄養ケア計画の作成、および食事の提供
- (2) 利用者一人一人の食事の様子を管理栄養士が毎日観察(ミールラウンド)する
- (3) 食数ミスや調理の個人差による味の違が出ないよう、厨房と連携する

<5> 相談部門(老健施設)

『目標』 在宅復帰の目的や加算について介護職・看護職に周知して理解を促し、加算型(介護老人保健施設の施設類型の一つ)を維持していく

- (1) 在宅復帰を目的として、入所者家族と定期的に会話する機会を持つ
- (2) 入所前後訪問指導加算を多く取れるよう働きかける

- (3) 加算型維持のため、各部署主任への周知と理解、及び他職員への勉強会を定期に開催する

<6>介護支援専門員部門（老健施設）

『目標』利用者やご家族のニーズに合った個別のケアプランを作成し、楽しみを持って施設で生活して頂けるように支援していく

- (1) 入所前の生活の様子や趣味、身体機能など情報収集し、ニーズに沿ったケアプランを作成する
- (2) カンファレンス等で多職種との話し合いの機会を多く持ち、情報収集に努める

<7>相談部門（通所リハビリテーション）

『目標』平均利用率向上と維持のため、ケアマネージャーへの連絡と情報共有を密に行う

- (1) 空き状況のお知らせをこまめに行う
- (2) ご利用者様に変化があればすぐご家族に伝達してコミュニケーションを図る
- (3) 他事業所への営業回りを定期に行う

<8>通所リハビリテーション部門

『目標』利用者の身体状況、ご家族のニーズに合わせた支援計画を作成して支援していく

- (1) 申し送りノートを毎日確認して情報収集を行う
- (2) ご利用者様の日々の変化をケア記録に分かりやすく記録する
- (3) 介助方法が分からない場合、一人で抱え込まず質問して反省会で解決していく

<9>居宅介護支援事業（つかまの里居宅介護支援センター）部門

『目標』法人内他部門、及び法人外他事業所とさらに綿密に連携を図り、利用者様の望む生活ができるように支援を行う

- (1) 引き続き法人内他部門、法人外他事業所と、Fax、メールなどの通信機器や、連絡ノートなどを用いて、正確に連携できるようにする

<10>埴生の宿

『目標』入居者様の在宅生活継続のため、モニタリング(観察)を実施しニーズを把握したうえでケアを行う

- (1) 毎日、朝の申し送りの時間にモニタリングを実施する
- (2) モニタリング結果は表にまとめて記録する
- (3) ケアプランの変更が必要な場合は、サービス提供責任者を通じて速やかにケアマネと相談する

<11> 訪問介護ステーション

『目標』 介護保険消化率を90%に上げて収益増加を狙う

- (1) 他社サービスを自社サービスに切り替える
- (2) 担当ケアマネージャに働きかけて、入居者様の介護保険利用率の向上を図る

<12> 診療所部門

『目標』 患者様が安心して受診できる環境作りを心掛けて、収益増加に繋がるよう努める

- (1) 丁寧な対応を心掛ける
- (2) 調剤、検査等的確に行い患者に不安や負担を与えないように努める
- (3) 検診、予防接種等を勧め患者の健康維持に努める

<13> 保険請求・経理部門

『目標』 ミス・漏れのない迅速な請求業務を行える体制を確立する

- (1) 関係諸官庁への提出書類の期限を一元管理する
- (2) ICT 活用による事務職員間の情報連携を強化する
- (3) 利用料減免制度を厳正に実施する

<14> 管理部門

『目標』 各部門が自立して利益を追求出来る仕組みを検討し、体制を整えていく

- (1) 各部門が費用と収益を確認できるようにグラフ化等による「見える化」を検討する
- (2) ICT 活用による業務効率化を進め、ムリ・ムダを省き残業時間を減らす
- (3) 苦情への迅速かつ適切な対応を行い、利用者のご家族の満足と信頼を獲得する
- (4) 社会福祉法改正への適切な対応を行う
- (5) 地域との連携を推進していく

5.委員会活動の充実

- ① 業務改善委員会 ② 栄養管理委員会 ③ 口腔機能維持委員会
- ④ レク・行事委員会 ⑤ 教育委員会 ⑥ 身体拘束廃止・高齢者虐待防止委員会
- ⑦ 防災対策委員会 ⑧ 労働安全衛生委員会 ⑨ 感染対策委員会
- ⑩ 安全対策委員会 ⑪ 褥瘡対策委員会 ⑫ 記録管理委員会
- ⑬ 排泄管理委員会

職員一人1委員会以上参加で実施していく。

6.社会福祉法人 国際保健支援会運営事業

(1)社会福祉事業（第二種）

- ①生活困難者に対して、無料又は低額な費用で介護保険法に規定する介護老人保健施設を利用させる事業（介護老人保健施設つかまの里 老健施設事業 短期入所療養介護・介護予防事業 通所リハビリテーション・介護予防事業 居宅介護支援事業）
- ②老人居宅介護事業の経営
（つかまの里訪問介護ステーション・日常生活支援総合事業）

(2) 公益事業

- ①南天診療所の経営
- ②つかまの里居宅介護支援センターの経営
- ③サービス付き高齢者向け住宅(埴生の宿)の経営

以上

令和5年度 事業（業務・行事）予定

	法 人	入 所	通 所
4月	年頭式 職員健康診断（夜勤者） 支援農場スタート	お花見 お誕生会 リハビリ農場スタート	お花見ドライブ お誕生会 リハビリ農場スタート
5月	新入職員歓迎会 春の火災予防訓練 理事会（事業・決算報告）	端午の節句 寿司バイキング 開成中学労働体験 お誕生会	端午の節句 寿司バイキング お誕生会
6月	評議員会（事業・決算報告）	お誕生会	大掃除 お誕生会
7月	消防設備保安点検	七夕飾り お誕生会	七夕飾り お誕生会
8月	松本ぼんぼん （盆休み）	松本ぼんぼん 三才町青山様・ボンボン お誕生会	松本ぼんぼん お誕生会
9月	敬老会	敬老会 お誕生会	敬老会 お誕生会
10月	職員健康診断（全職員）	お誕生会 業者による清掃 床ワックス塗布	お誕生会 業者による清掃 床ワックス塗布
11月	介護の日 秋の火災予防訓練	介護の日 そば打ち大会 お誕生会	介護の日 そば打ち大会 お誕生会
12月	お歳暮・年賀状	クリスマス お誕生会 年末大掃除	クリスマス お誕生会 年末大清掃
1月	消防設備保安点検	繭玉作り お誕生会	繭玉作り お誕生会
2月		節分豆まき お誕生会	節分豆まき お誕生会
3月	理事会（次年度事業計画・ 予算）	ひな祭り お誕生会	ひな祭り お誕生会

その他 三才町会文化祭参加、毎月ボランティアによるコンサートなどを予定しております。